

## 1 国の動向

国では、様々な法の制定や制度の創設を行い、高齢者、子ども、障害者など支援を必要とする人に対する支援の強化を進めています。

## 地域福祉計画に関わる国の動向

## ① 高齢者への支援

平成37年度を目途に、高齢者の方が要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援の5つの要素が一体的に提供される「地域包括ケアシステム<sup>\*</sup>」の構築を目指しています。

## ② 子ども・子育てへの支援

平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」を開始し、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善」、「地域の子ども・子育て支援の充実」など子育てをめぐる課題の解決を目指しています。

## ③ 障害者への支援

平成25年度に障害福祉サービスの充実など障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、「障害者総合支援法」を施行しました。さらに平成28年度には、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現のため、「障害者差別解消法」が施行されます。

④ 生活困窮者<sup>\*</sup>への支援

平成27年度に「生活困窮者自立支援法」を施行し、経済的に困窮し最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方など、生活保護に至る前の生活困窮者を対象に、困窮状態からの早期自立を迅速かつ包括的に支援する「生活困窮者自立支援制度」を開始しました。

## ⑤ 要配慮者への支援

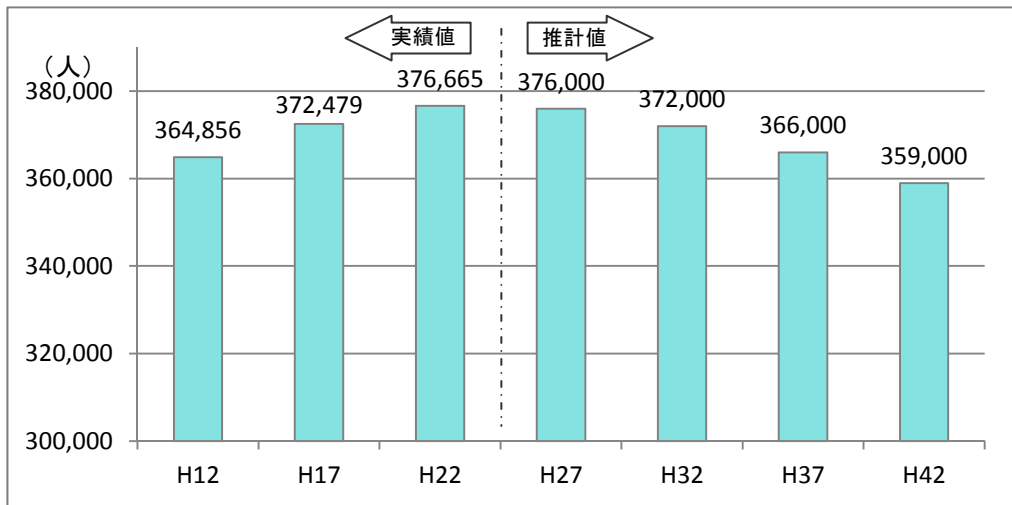
平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、高齢者、障害者、乳幼児などの防災施策において特に配慮を要する方（以下「要配慮者」という。）のうち、災害発生時の避難に特に支援を要する方の名簿（避難行動要支援者<sup>\*</sup>名簿）の作成を義務付けることなどを規定しました。また、この改正を受け、避難行動要支援者名簿の作成・活用に係る具体的手順などを盛り込んだ「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」を策定・公表しました。

## 2 人口等の状況

### (1) 人口の状況

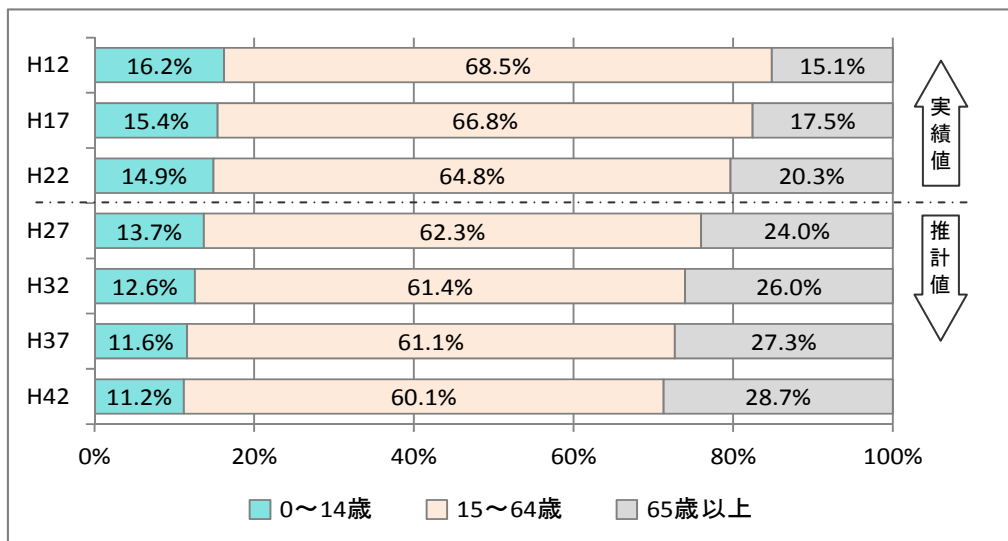
人口はゆるやかな増加傾向が続いてきたものの、現在は減少傾向にあります。また、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。平成42年には、年少人口が約11%まで減少するのに対し、老年人口が約29%まで増加すると推計されています。

■人口の推移と推計



資料：国勢調査（推計値は「豊橋市人口ビジョン」中の低位推移値）

■年齢3区分別人口割合の推移と推計

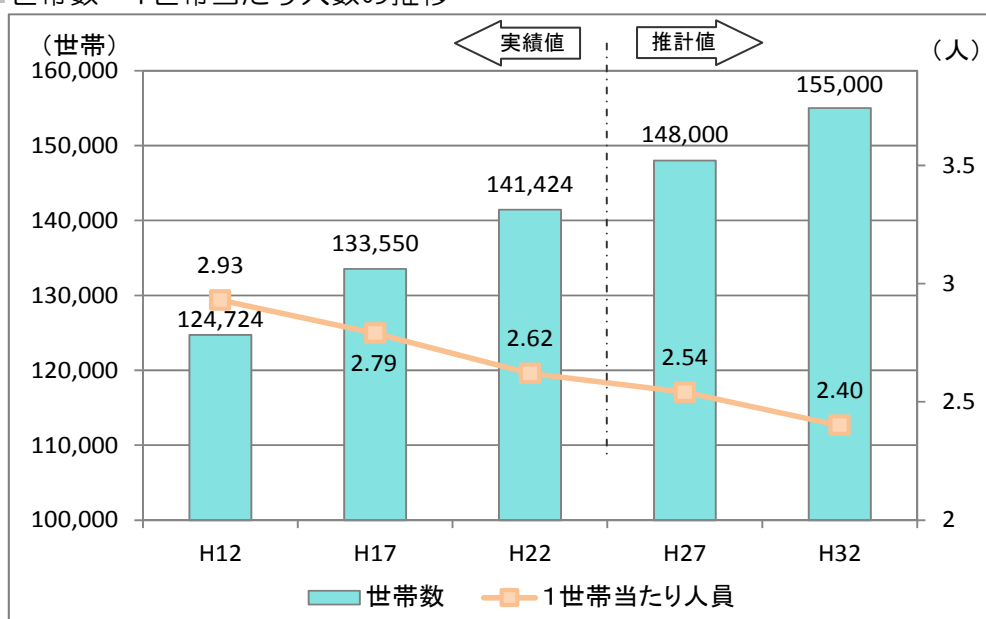


資料：国勢調査（推計値は「豊橋市人口ビジョン」中の低位推移値）

## (2) 世帯の状況

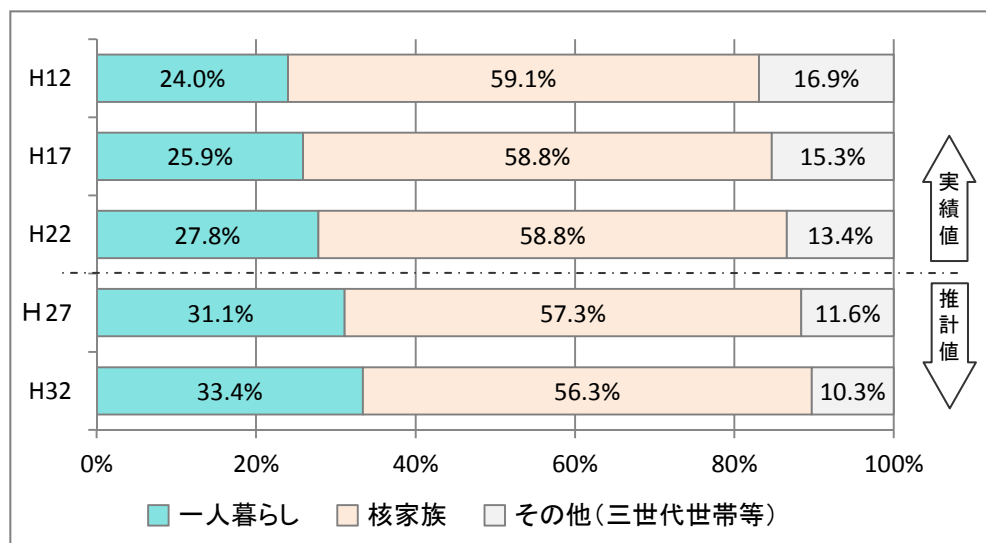
世帯数は継続して増加していますが、世帯人員は減少傾向で推移しています。また、一人暮らし世帯が増加しており、平成32年には一人暮らし世帯と核家族世帯を合わせた世帯数は全体の約90%まで増加すると推計されています。

■ 世帯数・1世帯当たり人数の推移



資料：国勢調査、ただし H27・H32 は第5次総合計画後期基本計画

■ 世帯構成別割合

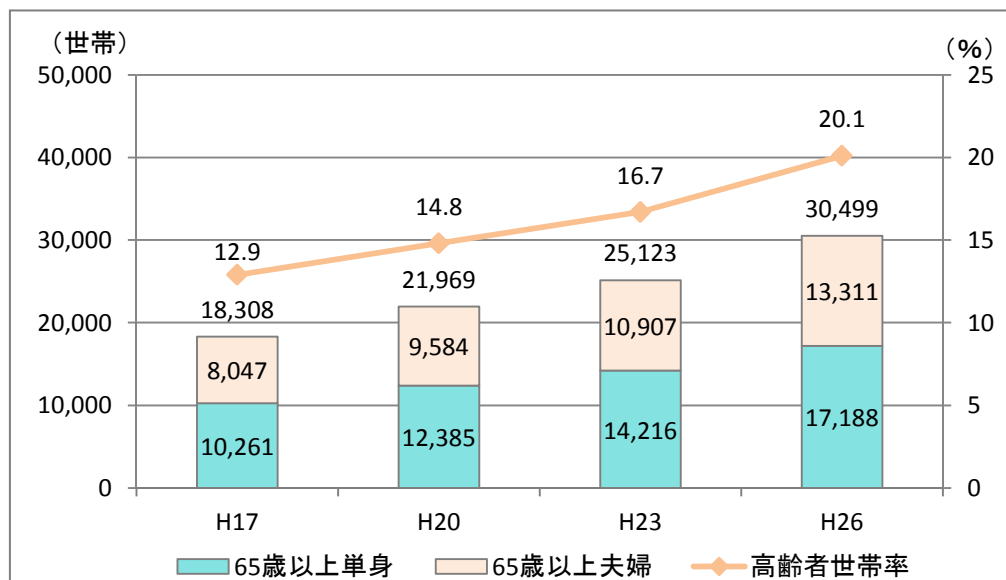


資料：国勢調査、ただし H27・H32 は第5次総合計画後期基本計画策定基礎調査

### (3) 高齢者の状況

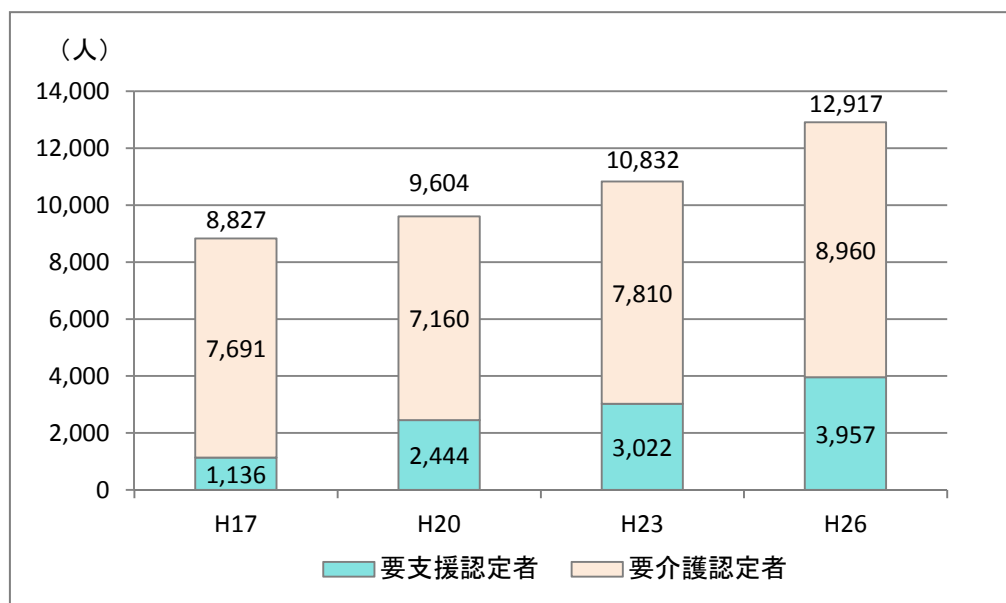
高齢者世帯数は増加傾向にあり、平成26年度では全世帯の約20%を占めています。また、要介護・要支援認定者\*数も増加しており、今後もこの傾向は続くものと推測されます。

#### ■ 高齢者世帯の推移



資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

#### ■ 要介護・要支援認定者の推移

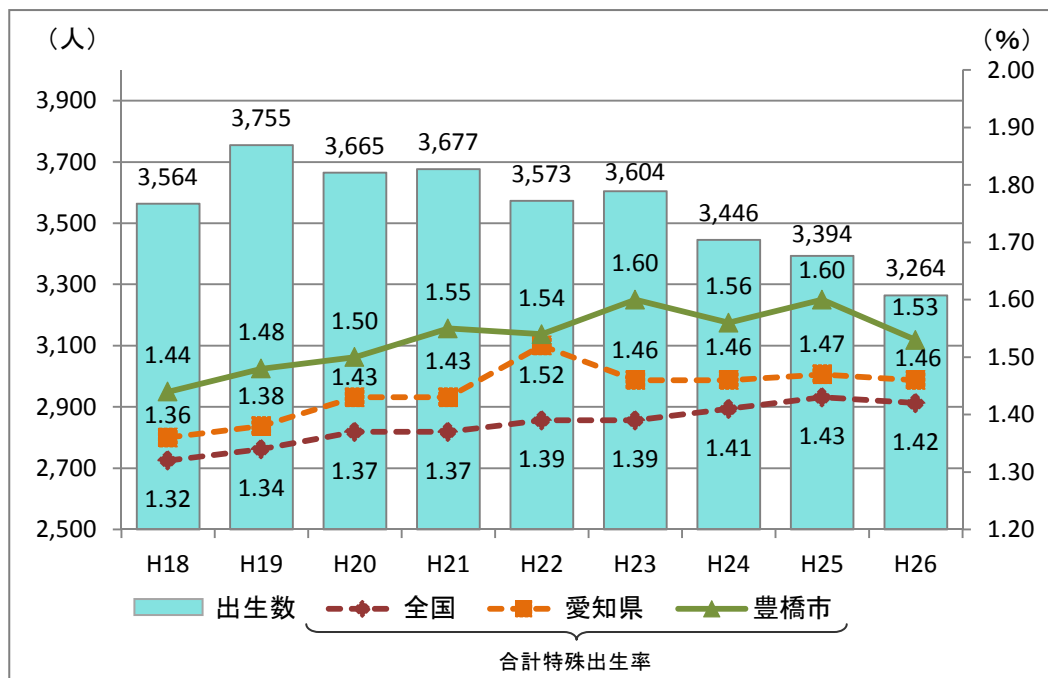


資料：長寿介護課（各年10月1日現在）

#### (4) 子どもの状況

出生数は、年々減少傾向にあります。合計特殊出生率※は、全国、愛知県と比べ高い値で推移していますが、長期的に人口を維持できる水準とされる 2.07 前後を大きく下回っており、人口減少、少子化が進んでいることを示しています。

■ 出生数・合計特殊出生率の推移



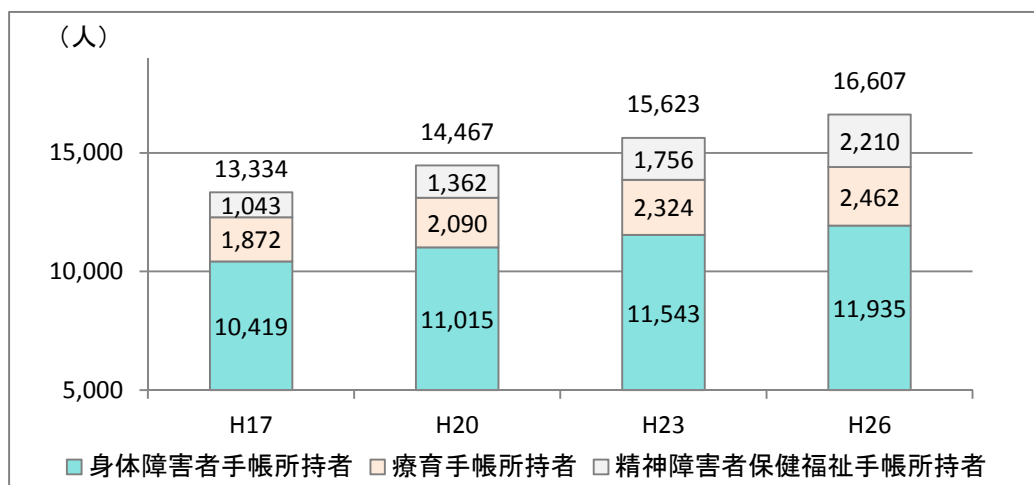
※合計特殊出生率に外国人は含みません。

資料：健康政策課（合計特殊出生率・各年）、住民基本台帳（出生数・各年度）

#### (5) 障害者の状況

手帳所持者数の推移を見ると、それぞれの障害においていずれも増加しています。特に、精神障害のある人の増加率は他に比べて高くなっています。また、身体障害は高齢化と相関関係にあることもあり、今後も障害者の数は増加していくものと推測されます。

■ 手帳所持者数の推移

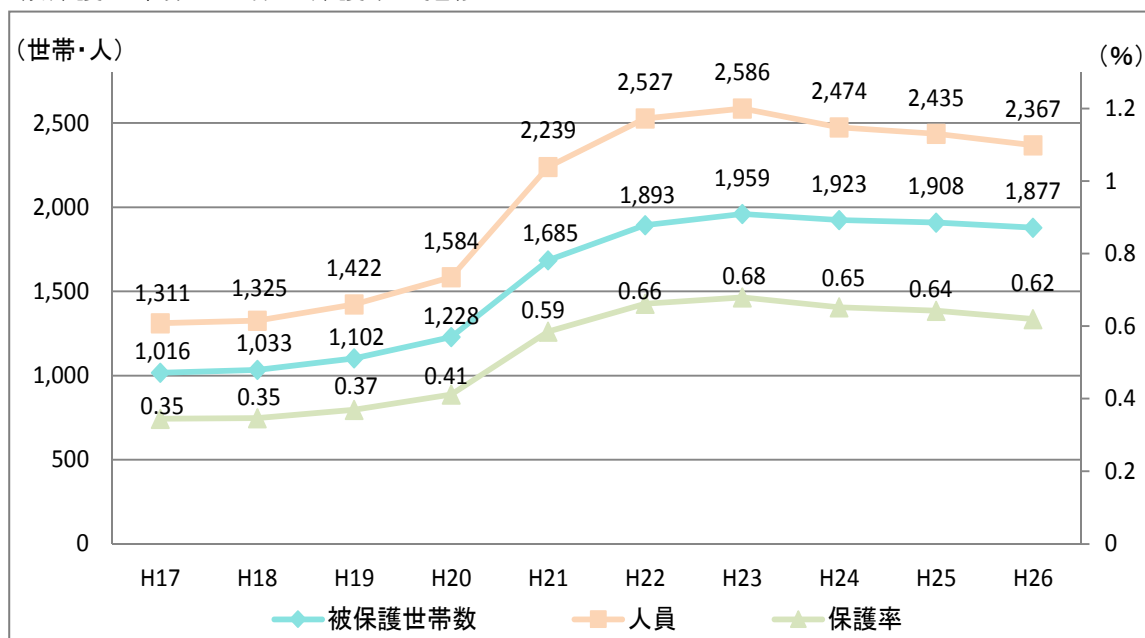


資料：障害福祉課（各年 4 月 1 日現在）

## (6) 生活保護世帯の状況

生活保護世帯は平成 20 年度以降、雇用・経済状況の悪化に伴い急激に増加しました。平成 24 年度以降は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあります。

■ 被保護世帯数・人数・保護率の推移



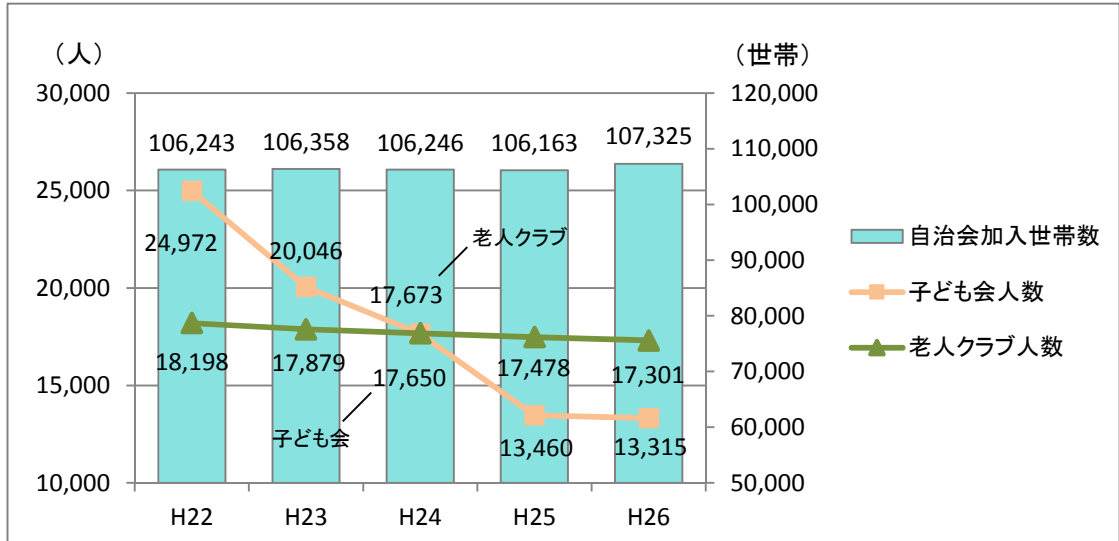
資料：生活福祉課(各年度末現在)

### 3 地域の活動状況

#### (1) 地域団体の状況

自治会加入世帯数はほぼ横ばいで推移しています。一方で子ども会、老人クラブの人数は年々減少傾向にあります。

■自治会・子ども会・老人クラブの推移

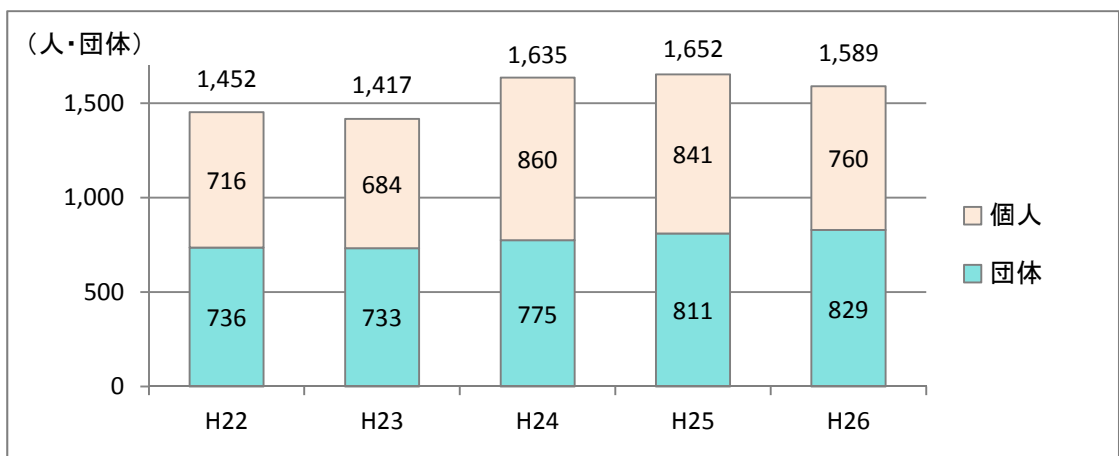


資料：市民協働推進課（自治会）、生涯学習課（子ども会）、長寿介護課（老人クラブ）  
（各年度末現在）

#### (2) ボランティアの登録状況

ボランティアの数は、団体、個人ともにほぼ横ばいで推移しています。

■ボランティア数の推移



資料：社会福祉協議会・豊橋善意銀行・市民活動プラザ（年度計）





